

平成27年度 楠見東小学校 全国学力・学習状況調査結果の概要と具体的な取組

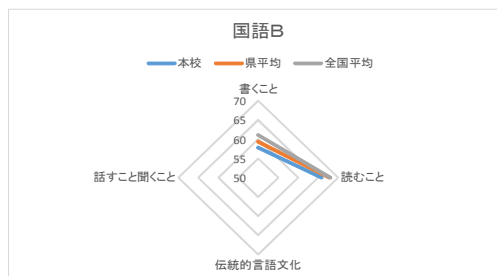
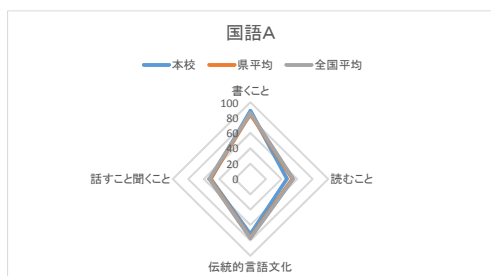
☆調査内容

(1) 実施日 平成27年4月21日(火) (2) 対象 第6学年 2学級 45名

全国学力・学習状況調査は、出題範囲を調査実施学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、国語・算数・理科の3教科について、「知識」と「活用」の2種類の問題が出題されます。国語A・算数A・理科では、身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり、日常的に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などについて、国語B・算数B・理科では、知識・技能等を実生活の様々な場面で活用できる力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などについて出題されています。※理科については、「知識」と「活用」の問題が一体的に出題されています。

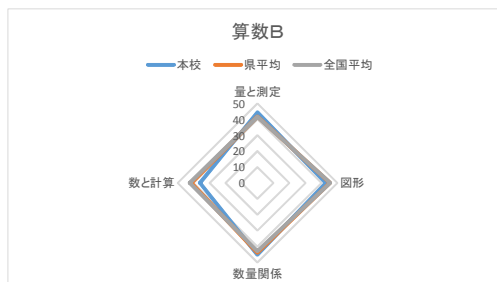
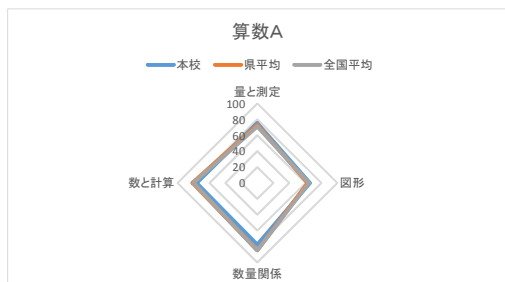
◎教科調査結果の分析より

◀国語科の傾向▶



- おおむね学習の成果が発揮され、本年度の結果はかなり改善された。
- 漢字の読みはおおむねできている。しかし、正確に書くことについては苦手である。また、文脈の中で適切な漢字を使うことが苦手である。 [課題Ⅰ]
- 限られた時間で長文を読み、指定された条件のもとで解答する練習が必要である。 [課題Ⅱ]
- 自分の考えを文章にして解答することが苦手である。 [課題Ⅲ]

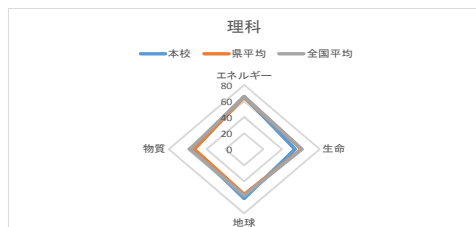
◀算数科の傾向▶



- 算数の結果もおおむね学習の成果が発揮され、本年度の結果はかなり改善された。

- 小数の計算にはミスや早とちりが目立った。〔課題Ⅲ〕
- 図形や図式に自分の考えを正しく表現することが苦手な傾向がある。日常生活と関連させて考える力を身に付けさせていく必要がある。〔課題Ⅳ〕

《理科の傾向》



- 本年度は、おおむね学習の成果が発揮された結果であった。
- 実験器具の名称、操作方法等が十分身につけていなかった。

全国学力・学習状況調査では、国語・算数の学力調査の他、児童質問紙調査があります。この質問紙調査では、児童の学校や家庭における学習状況や学校での指導の様子がわかります。

◎質問紙調査結果より

- 生活習慣は正しく、規範意識は高い傾向にあり、日頃から学校生活や家庭生活の中で守られるべきことは、よく守られている結果となった。
- 一方、自尊感情は低く、成功体験の少なさや自分の良いところを見つけることができていない様子が窺えた。〔課題Ⅴ〕
- 家庭での学習習慣やテレビの視聴時間及びゲーム等の時間について課題が見受けられた。家庭での時間の過ごし方に特に工夫が必要と思われる。〔課題Ⅵ〕
- 基礎学力の元となる読書量を増やすための工夫が必要と思われる。〔課題Ⅶ〕

調査結果を受けて本校が、具体的に取り組んでいること

- 東タイム（月・火・木・金曜13:30～13:45）に基礎学力の向上と学習内容の定着のためにドリルやプリントで繰り返し学習を実施しています。〔課題Ⅰ〕、〔課題Ⅲ〕解決のために。
- チャレンジタイム（月、金曜、下校時30分間）を設け、希望者に基礎学力の向上と学習内容の定着のための指導をしています。〔課題Ⅰ〕、〔課題Ⅱ〕、〔課題Ⅲ〕、〔課題Ⅳ〕解決のために。
- グループ学習や自ら主体的に関わり学べる授業、学び合える授業に積極的に取り組みます。〔課題Ⅴ〕解決のために。
- 「家庭学習のすすめ」等の資料活用や子育て講演会の開催により家庭での過ごし方等についての啓発を図ります。〔課題Ⅵ〕解決のために。
- 読書環境と読書の機会の充実に努めます。〔課題Ⅶ〕解決のために。